

新鮮な海の幸を求め 1万5千人

旭市いいおか港・水産まつり2007

旭市初の水産まつりとなる「旭市いいおか港・水産まつり2007」が、7月22日にいいおかみなと公園で開かれ、雨天にもかかわらず1万5千人が会場を訪れました。

この催しは、県内でも有数の漁獲量を誇る飯岡漁港に水揚げされる新鮮な水産物や旭市産の豊富な農畜産物のPRと、刑部岬などの恵まれた自然資源を有効活用するために開催。会場は、水揚げされたばかりの鮮魚や新鮮な農畜産物が即売されたほか、生きたヒラメを自分の希望額で入札するセリの疑似体験も実施され、市価より安い値段で落札した方は思わずにっこり。屏風ヶ浦を沖から眺める遊覧船や特設ステージでのさまざまな催しにも歓声が揚がっていました。



▲40kgを超えるマグロは井に



▲大勢の人でにぎわう会場



▶行
つ
て
き
ま
す。
遊
覧
船
出
航

▶大
き
く
な
っ
て。
ヒ
ラ
メ
の
放
流



がんばれ アスリート 全国・関東大会に出場

〈卓球〉

- 全国ホープス卓球大会（東京都 8／8～10）



▲榎澤涼太君
（共和小6年）



▲林めぐみさん
（干潟小6年）



▲加瀬涼華さん
（富浦小6年）



▲西野美里さん
（富浦小6年）



▲飯島果穂さん
（中央小5年）



▲加瀬亜羅司君
（富浦小6年）



▲石井勝太君
（富浦小6年）



▲井上大誠君
（矢指小5年）



▲高上友里さん
（中央小5年）



▲青木光太郎君
（二中3年）



▲宮内菜々美さん
（中央小5年）



▲高根実菜加さん
（古城小5年）



▲高橋侑子さん
（富浦小4年）



▲芝田沙季さん
（共和小4年）

〈弓道〉

- 全国高等学校総合体育大会（佐賀県 7／28～8／20）



▲齊藤貴大君
（匠達高2年・二）

〈陸上〉

- 全国小学生陸上競技交流大会（大阪府 7／27、28）、種目／100m

- 関東中学校陸上競技大会（茨城県 8／8、9）

- 全日本中学陸上競技選手権（宮城県 8／20～23）、種目／400m

第16回全国大会が旭市で開催

日本生活科・総合的学習教育学会

全国から800人に及ぶ教育関係者などが参加して、日本生活科・総合的学習教育学会が主催する第16回全国大会「ちば・旭大会」が6月23日、24日の2日間、市内の小中学校などを会場に開かれました。

大会では、教科の枠にとらわれず子どもたちの体験を通して総合的に学ぶ学習活動である「生活科・総合的学習」を軸にした、幼稚園から高校までの「学びの広がり」などを提言。



▲嚶鳴小児童による提案授業



▲発表を終え質問に答える一中学生

23日の会場となった干潟小、嚶鳴小では各学年児童による提案授業が行われ、また飯岡中では市内5つの中学校や旭農、東総工の生徒がそれぞれ研究した内容を発表。聞いていた参加者からは「なぜこのテーマを選んだのか」「調べるのに苦労した点は」などの質問があり、生徒たちとも活発な意見交換が行われました。翌日、東総文化会館で開かれたシンポジウムにも大勢の方が参加し、これからの学習のあり方などを議論しました。

なお、この大会は県庁所在地などの大都市以外で開催されることは少なく、今回旭市で開催されたのは、まちづくりに中学生の意見を反映させるなど、地域ぐるみで子どもたちの学習に取り組んでいることが評価されたものです。

いろいろな生きものにびっくり

幽学ゆかりの田んぼで草取り・生きもの調査



▲草も無くなり田んぼもすっきり

大原幽学ゆかりの水田を使い、都市住民と交流を図る「幽学の里で米作り交流事業」。5月に植えられた苗も大きくなりましたが、雑草も伸びてきました。そこで、7月1日に3つの交流団体から親子ら110人が参加して、田んぼの草取りと生きもの調査が行われました。草取りを終えると子どもたちの興味は田んぼの生きものに。いろいろな生きものを見つけると、急いで捕まえようとする子どもやびっくりして親に助けを求める子どももいましたが、思い思いに旭の自然を満喫していました。

新しい人権擁護委員を紹介します

7月1日付けで、石毛昭夫さん（三川）が法務大臣から新たに人権擁護委員として委嘱されました。

また、同日付けで林秀和さん（神宮寺）が再任されています。

人権擁護委員は、毎日の暮らしの中で起こる人権に関するさまざまな問題を解決するため、皆さんの相談に応じています。相談は無料で、相談内容についての秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。



▲石毛昭夫さん

誰もが自立した地域生活を送れるよう

地域自立支援協議会を設置

障害のある方が普段暮らしていく中で生じるさまざまな課題を解決していこうと、地域自立支援協議会が設置され、6月19日に第1回の会議が開かれました。

この協議会は障害福祉に関する団体等で構成され、今後は関係機関との連携を深め、相談支援事業をはじめ地域の障害者福祉に関するネットワークづくりを進めます。問い合わせは地域自立支援協議会事務局（☎62-5351 社会福祉課障害福祉班）まで。

